



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

中板橋雲母保育園



テーマ【色と光】

設定した理由・背景

絵本の読み聞かせや普段の散歩などから、色に興味を持つ姿が見られるようになったため、様々な色や色の変化の様子に興味を持ち、探求心を育てていきたいと考えた。

日当たりの良い園の特徴を活かし、窓から差し込む太陽の光を不思議に感じる子どもがいたため、光を取り入れる事で色の変化を感じたり、光と影について探求できるのではと考えた。

用意した環境設定

・クレヨンや絵の具、セロハンシート、色の変化について探究できる素材を用意した。

・光を通した色の変化を探究するために、ライトを用意した。

・色についての歌を歌い、色を覚え探究するために電子ピアノを用意した。

活動のあゆみ

9～10月：身近な物の色の名前を活動の中で知っていく。色水を観察した。

11月：週に1回カラーポリ袋やカラーセロハンを使って探究した。

12月：週に1回懐中電灯を使って探究した。

1月：週に1回懐中電灯とカラーポリ袋、カラーセロハンを使って探究した。

2～3月：週に1回懐中電灯、カラーポリ袋、絵の具、クレヨンを使って探究した。

✿探究活動の実績✿

①
身近な物の色の名前から問いかけ、分かりやすい赤、青、黄色などだけでなく、他にどんな色があるのかという問いかけから始めた。窓から差し込む太陽の光が床に反射している事に気づき、じっと見つめる子どもがいたため、「どこから来た光なんだろうね？」と問いかけた。

②
保育者が色について伝えると、子どもの方から「これは？」と何色かと尋ねる反応が見られたため、色の名前を伝えていった。光がどこから来たのか、保育室の中を見回して探す様子が見られた為、保育者が手をかざして光の方向を一緒に探してみた。

③
カラーセロハンを使った活動では、セロハンを通して見た周囲の景色が普段と違う色合いである事に不思議さを感じたようで、「全部黄色い」「赤だね」と反応を示していた。懐中電灯を使った遊びでは、光がどこから来るのか気になって懐中電灯を覗き込んだり、床の光を踏もうとする姿が見られた。カラーセロハンを被せると光の色が変わる事に気づき、好きな色のセロハンを被せて色の変化を楽しんでいた。懐中電灯の光を利用した影遊びを行うと、手の影が動く事に驚いていた。

④
「色と光」をテーマにし、色を主体として始めた活動だったが、次第に光の方へ子どもの興味が向いている事に気付いたため、懐中電灯を使った探求遊びを多く取り入れるようにした。子ども自身で思いもよらない場所を照らしたり、懐中電灯を覗き込んでみたりと、保育者が想定していなかった遊び方も見られた。



1歳児が色水遊びに取り組む様子



1歳児が懐中電灯で遊ぶ様子



1歳児が懐中電灯で遊ぶ様子

まとめ

色に興味を持ったことがきっかけで決めたテーマだったが、長期に渡って活動を進めていく中で光への興味が強くなったことから、子どもの興味関心の方向性は予想が出来ないからこそ、素材や道具を十分に用意し、子どもが自ら探求出来る環境を整える事が大切なのだと感じた。来年度はさらに子どもが遊び込めるような環境設定の工夫をしていきたい。